

第 50 回釜ヶ崎越冬闘争への協力要請

いよいよ今年も本格的な冬がやってきました。建て替えのためのセンター閉鎖や猛暑、台風など、働く者、野宿を強いられる者にとって厳しい一年でした。

大阪では道頓堀や黒門市場、USJなど外国人旅行者があふれんばかりに詰め掛けており、新今宮駅や新世界も大量の旅行者が行き来し、ホテルや民泊を求めて地区内奥深くまでやって来ています。

さらに 20 年の東京オリンピック、25 年の大阪万博を当て込みホテルなどの建設のみならず道路工事に至るまでいたるところで建設ラッシュが始まっています。

こうした観光客の増加は地域経済を活性化させ、大量のドラッグストアが新規開店し、スーパー玉出やドン・キホーテといった旧来の安売り店の商品価格も押し上げて、地域労働者、生活者の家計を圧迫するようになりました。地域の簡易宿泊所(ドヤ)でさえ、土日祝祭日は 200 円割り増しなどというところが出てきています。

この現場の動きは再開発と呼ぼうがジェントリフィケーションと呼ぼうが確実に街の変化と地域の労働者の生活の変化を推し進めています。

センターの建て替え問題は、自らの営利のため事業拠点を創るため跡地を私たちから奪おうとする商業資本から労働施設を守り、安心して働き生活できる地域社会を創ろうとする私たち労働者とのせめぎ合いであり、地域の人たちとの協働の場でもあります。西成特区構想発表から 7 年が経ち、「民営化」の名のもとに、市民の財産、労働者の財産を資本に売り飛ばそうとした悪徳政治家と御用役人、御用学者の目論見を一旦は阻止したものの、新センターの中身についてはまだまだこれからの攻防となります。

私たちは「釜ヶ崎へ行けば何とかなる」という想いに応え続けてきたこの街の良さ(多くの人たちの想い)=伝統を守ることによって、今この街に暮らすなかまと共にこれからも流れ着くであろうなかまたちを守っていければと思います。

今年の越冬闘争も目の前でなかまたちが餓死・凍死するのを防ぐとともにこの街がすべての個人にとってやさしく住みやすい街となるように人権と平和を求めてそれに反するような行政施策、国の政治を見据えながらなかまたちの団結を創り出し、声を上げていく越冬闘争になればと願っています。

これまで同様皆様の温かいご支援をお願いいたします。

また、2019 年 12 月 28 日から 2020 年 1 月 6 日までの越冬期間中の現場でのご支援もよろ

しくお願いいたします。

■資金で協力

越冬闘争では、毎年 70 万～80 万円の資金が必要となります。現在も、越冬実行委員会では、資金集めに奔走しております。厳しさを増すこの経済状況にあって、心苦しい限りではありますが、釜ヶ崎の運動・取り組みに関心を寄せる多くの方々に、資金協力をお願いいたします。

【振込先】 ①みずほ銀行 難波支店 普通口座 1387094

釜ヶ崎実行委員会代表山田実

②ゆうちょ銀行 記号 141 番号 33722521

【他金融機関から振り込みの場合】

③ゆうちょ銀行 店番 418 普通預金 3372252

④郵便振替口座 00960-4-108331

②③④は、名義：釜ヶ崎実行委員会

■物資で協力

越冬闘争では、次のような物資が必要です。みなさまのご協力をお願いいたします。

- 毎日の炊き出しに使う、米、もち米、お米券、調味料、野菜、その他の食料
- 寝場所、医療パトロールで使う、布団（敷布団、掛布団）、毛布類、寝袋
- 冬の寒さをしのぐための、衣類（成人男性用で、防寒着、カイロ、など）
- その他、石鹸、タオルなどの日常生活用品

【物資の送付先】 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-9-7

第 50 回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会（代表 山田 実）

電話：06-6632-4273

第 50 回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会